

じゅ 受	けん 検	ばん 番	ごう 号	し 氏	めい 名

2電一次(前)

令和7年度(前期)

2級電気工事施工管理技術検定

第一次検定問題

[注 意 事 項]

1. ページ数は、表紙を入れて23ページです。
2. 試験時間は、10時15分から12時45分までです。
3. 解答は、次によってください。
 - 1) [No. 1]から[No. 4]までの4問題は、全問解答してください。
 - 2) [No. 5]から[No. 10]までは、6問題のうちから4問題を選択し、解答してください。
 - 3) [No. 11]から[No. 29]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。
 - 4) [No. 30]から[No. 35]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。
 - 5) [No. 36]から[No. 40]までの5問題は、全問解答してください。
([No. 37]から[No. 40]の4問題は、施工管理法の能力問題です。)
 - 6) [No. 41]から[No. 50]までは、10問題のうちから6問題を選択し、解答してください。
 - 7) [No. 51]から[No. 62]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。
4. 選択問題の解答数が指定数を超えた場合は、減点となります。
5. 問題は、四肢択一式又は五肢択一式です。正解と思う肢の番号を、塗りつぶしてください。
6. 解答は、別の解答用紙に、HBの芯を用いたシャープペンシル又はHBの鉛筆で記入してください。それ以外のボールペン、サインペン、色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
7. 解答のマークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
消しかたが十分でないと指定数を超えた解答となり、減点となります。
8. 解答用紙は、雑書きをしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
9. この問題用紙の余白は、計算などに使用することができます。
10. 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
11. この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の問題用紙は回収します。
12. 問題文中に「電気設備の技術基準とその解釈」とあるのは、「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「電気設備の技術基準の解釈」のことをいいます。なお、「電気設備の技術基準の解釈」の第7章「国際規格の取り入れ」は除くものとします。

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問解答してください。

[No. 1] 直径 1.6 mm, 長さ 30 m の電線 A と, 直径 3.2 mm, 長さ 60 m の電線 B がある。

電線 B の抵抗値は, 電線 A の抵抗値の何倍となるか。

ただし, 電線の抵抗率及び温度は同一とする。

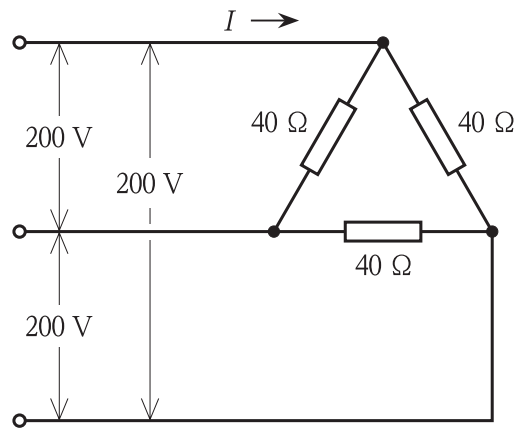
1. $\frac{1}{4}$ 倍
2. $\frac{1}{2}$ 倍
3. 1 倍
4. 2 倍

[No. 2] 巻数 100 回のコイルを貫く磁束が 0.2 秒間に 0.06 Wb の割合で増加するとき, コイルに発生する誘導起電力 e の大きさ [V] として, 正しいものはどれか。

1. 1.2 V
2. 15 V
3. 30 V
4. 60 V

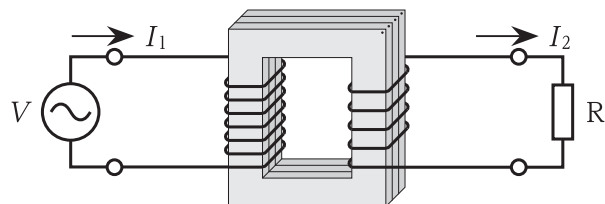
※ 問題番号 [No. 1] から [No. 4] までの 4 問題は、全問解答してください。

[No. 3] 図に示す三相負荷に三相交流電源を接続したときに流れる電流 I の値 [A] として、正しいものはどれか。



1. $\frac{5}{\sqrt{3}}$ A
2. 5 A
3. $5\sqrt{3}$ A
4. 15 A

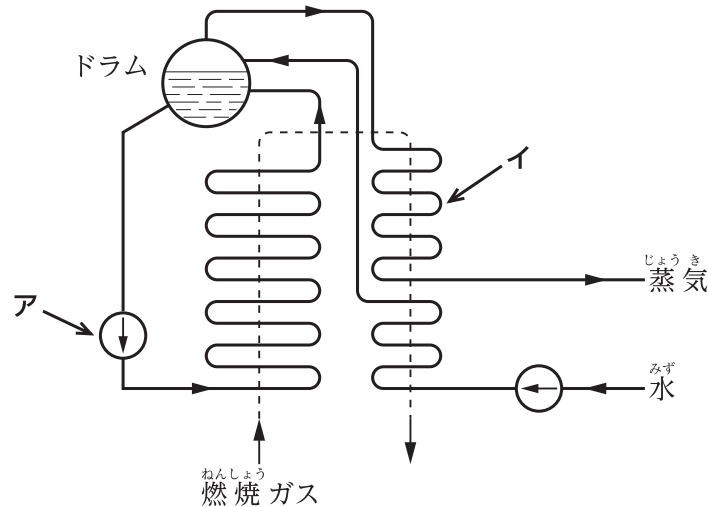
[No. 4] 図に示す、理想変圧器の一次側に、電流 $I_1 = 1$ A が流れているとき、二次側は、電流 $I_2 = 40$ A、抵抗 R での消費電力 $W = 4$ kW であった。この場合の一次側電圧 V の値 [V] として、正しいものはどれか。



1. 40 V
2. 100 V
3. 400 V
4. 4 000 V

※ 問題番号 [No.5]から[No.10]までは、6 問題のうちから 4 問題を選択し、解答してください。

[No. 5] 図に示す汽力発電の強制循環ボイラにおいて、アとイの名称の組合せとして、適切なものはどれか。



- | | ア | イ |
|----|-------|-----|
| 1. | 給水ポンプ | 過熱器 |
| 2. | 給水ポンプ | 再熱器 |
| 3. | 循環ポンプ | 過熱器 |
| 4. | 循環ポンプ | 再熱器 |

[No. 6] 変電所の調相設備において、無効電力の調整を行うための機器として、最も不適当なものはどれか。

1. 分路リアクトル
2. 電力用コンデンサ
3. 静止形無効電力補償装置(SVC)
4. 負荷時タップ切換変圧器(LRT)

※ 問題番号 [No.5] から [No.10] までは、6 問題のうちから 4 問題を選択し、解答してください。

[No. 7] 架空送電線路に発生するコロナ放電に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ラジオ受信障害が発生する。
2. 送電電圧が高い方が発生しやすい。
3. 電線の外径が大きいほど発生しにくい。
4. 雨天時より晴天時の方が発生しやすい。

[No. 8] 送配電系統の電力損失に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 変圧器の銅損は、大半が巻線の抵抗損である。
2. 変圧器の鉄損は、負荷電流の2乗に比例する。
3. 電力ケーブルの抵抗損は、線路電流の2乗に比例する。
4. 電力ケーブルの損失には、抵抗損のほかに誘電損やシース損がある。

[No. 9] リチウムイオン二次電池の特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 小型・軽量化が困難である。
2. 急速充電が可能である。
3. 電池の内部圧力上昇で膨張、破裂したり発火したりする危険性がある。
4. 繰り返し充放電できる回数が多い。

[No. 10] 三相誘導電動機の特長に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 回転速度は、同期速度より遅くなる。
2. 回転速度は、電源周波数が低くなるほど遅くなる。
3. 回転速度は、滑りが減少するほど速くなる。
4. 回転速度は、固定子巻線の極数が多くなるほど速くなる。

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 11] 水力発電所に用いられる水車発電機に関する記述として、最も不適当なものはどれか。
ただし、発電機は同期発電機とする。

1. 極数は、蒸気タービン発電機より多い。
2. 短絡比は、蒸気タービン発電機より大きい。
3. 回転子は、軸方向に長い円筒形が多い。
4. 立軸形は、軸方向の荷重を支えるスラスト軸受を有する。

[No. 12] 屋外変電所の雷害対策に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 避雷器の接地は、B 種接地工事とする。
2. 変電所の接地は、主にメッシュ方式が採用される。
3. 避雷器を架空電線の電路の引込口及び引出口に設ける。
4. 屋外鉄構の上部に架空地線を設ける。

[No. 13] 変電所に用いられる高圧計器用変成器の取り扱いに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 計器用変流器(CT)は、二次側を開放しない。
2. 計器用変圧器(VT)は、二次側の 1 線を接地する。
3. 計器用変流器(CT)の二次端子の接続を誤ると、計器や保護継電器の誤動作に至る場合がある。
4. 零相変流器(ZCT)は、各相ごとに電線を別々の変流器に貫通させる。

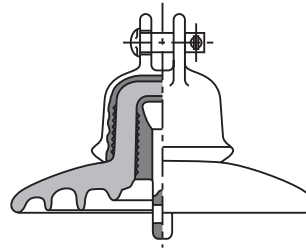
※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 14] 配電線路に用いられる電線の種類と主な用途の組合せとして、最も不適当なものはどれか。

電線の種類	主な用途
1. 引込用ビニル絶縁電線(DV)	低圧架空引込用
2. 屋外用ビニル絶縁電線(OW)	高圧架空配電用
3. 引込用ポリエチレン絶縁電線(DE)	低圧架空引込用
4. 屋外用架橋ポリエチレン絶縁電線(OC)	高圧架空配電用

[No. 15] 図に示すがいしの名称として、適当なものはどれか。

1. 懸垂がいし
2. 長幹がいし
3. 高圧ピンがいし
4. ラインポストがいし



[No. 16] 架空送電線において、スリットジャンプによる事故の防止対策に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 電線の張力を大きくする。
2. 長径間になることを避ける。
3. 単位重量の小さい電線を使用する。
4. 電線相互のオフセットを大きくする。

[No. 17] 変電所の塩害対策に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. がいしを洗浄する。
2. がいし表面にシリコンコンパウンドを塗布する。
3. がいしにアーマロッドを取り付ける。
4. 耐霧がいし(スモッグがいし)を採用する。

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 18] 次の機器のうち、配電線に電圧フリッカを発生させる機器として、最も不適当なものはどれか。

1. 放電クランプ
2. 溶接機
3. アーク炉
4. 圧延機

[No. 19] 一般照明用の光源色の種類について、相関色温度(K)を高い順に並べたものとして、「日本産業規格(JIS)」上、正しいものはどれか。

1. 白色，昼光色，電球色
2. 白色，電球色，昼光色
3. 昼光色，白色，電球色
4. 昼光色，電球色，白色

[No. 20] 三相誘導電動機に用いる低圧進相用コンデンサに関する記述として、「内線規程」上、誤っているものはどれか。

ただし、低圧進相用コンデンサは、個々の電動機の回路ごとに取り付けるものとする。

1. コンデンサは、手元開閉器よりも電源側に接続する。
2. 電動機が低力率のものには、力率改善のためにコンデンサを取り付ける。
3. コンデンサは、放電抵抗器付のものを使用する。
4. コンデンサの容量は、電動機の無効分より大きくないものを選定する。

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 21] 屋内の低圧配線を造営材に取り付ける場合において、配線方法と支持点間の距離の組合せとして、「内線規程」上、不適当なものはどれか。

	はいせんほうほう 配線方法	し し てんかん きょり 支持点間の距離
1.	こうせいじゅしせい か かん 合成樹脂製可とう管	1.5 m 以下
2.	きんぞくかん 金属管	2 m 以下
3.	きんぞくせん 金属線ぴ	1.5 m 以下
4.	ライティングダクト	2 m 以下

[No. 22] 高圧受電設備の用語の定義として、「高圧受電設備規程」上、誤っているものはどれか。

1. 区分開閉器とは、保守点検の際に電路を区分するための開閉装置をいう。
2. 受電設備容量とは、受電電圧で使用する変圧器、電動機などの機器容量の合計をいい高圧進相コンデンサを含む。
3. 短絡電流とは、電路の線間がインピーダンスの少ない状態で接触を生じたことにより、その部分を通じて流れる電流をいう。
4. 地絡電流とは、地絡によって電路の外部へ流出し、電線若しくは電気機械器具の損傷、感電又は火災のおそれのある電流をいう。

[No. 23] 据置鉛蓄電池に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 制御弁式鉛蓄電池は、補水する必要がある。
2. 触媒栓は、充電時に発生するガスを水に戻す機能がある。
3. 放電すると、電解液の濃度(比重)が下がる。
4. 温度が高いほど、自己放電は小さくなる。

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 24] 湿気の多い場所に低圧屋内配線を施設する工事として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、誤っているものはどれか。
ただし、必要に応じて防湿装置を施すものとする。

1. 金属ダクト工事
2. 合成樹脂管工事
3. ケーブル工事
4. 金属可とう電線管工事

[No. 25] 非常警報設備に関する記述として「消防法」上、誤っているものはどれか。
ただし、防火対象物には、非常警報器具、自動火災報知設備、自動式サイレン及び放送設備の設置はされていないものとする。

1. 非常ベルの音響装置は、各階ごとに、その階の各部分から一の音響装置までの水平距離が 50 m 以下となるように設ける。
2. 非常警報設備の起動装置は、多数の者の目にふれやすく、かつ、火災に際しすみやかに操作できる箇所に設ける。
3. 表示灯は、起動装置の直近、床上 1.5 m の箇所に設ける。
4. 非常警報設備には、非常電源を附置する。

[No. 26] 非常用の照明装置に設ける予備電源が、充電を行うことなく継続して点灯させることができる時間として、「建築基準法」上、定められているものはどれか。

1. 10 分間
2. 20 分間
3. 30 分間
4. 60 分間

※ 問題番号 [No.11]から[No.29]までは、19 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 27] 次の記述に該当するテレビ共同受信設備を構成する機器の名称として、最も適切なものはどれか。

「混合された異なる周波数帯域の信号を選別して取り出すための機器」

1. 増幅器
2. 分配器
3. 分波器
4. 分岐器

[No. 28] 電車線の張力調整装置に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

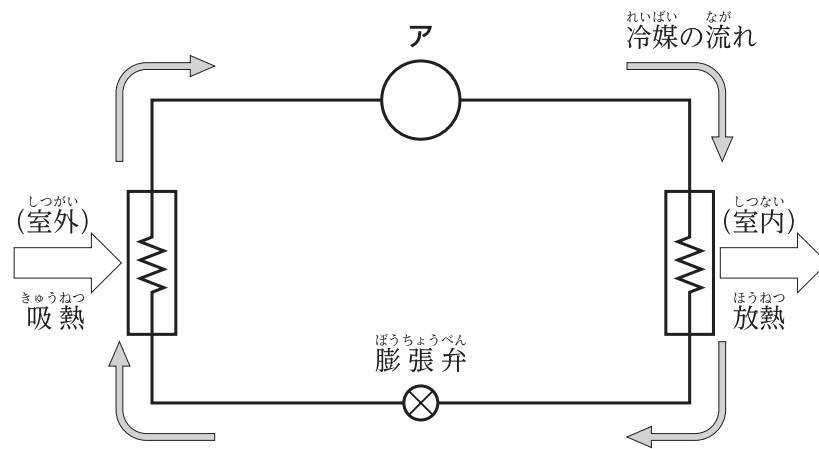
1. 張力調整装置は、温度変化による電車線のたるみ過ぎ又は張り過ぎを防止するものである。
2. 張力調整装置には、自動式と手動式がある。
3. 自動張力調整装置には、ばね式バランサがある。
4. 手動張力調整装置には、滑車式バランサがある。

[No. 29] 道路トンネル照明に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 入口部照明の区間の長さは、設計速度が速いほど長くする。
2. 出口部には、設計速度、トンネル延長、出口付近の野外輝度を考慮し、必要に応じて照明施設を設けるのがよい。
3. 停電時照明は、停電時における危険防止のため、設けることを原則とするが、基本照明の一部を兼用することはできない。
4. 接続道路の照明は、夜間において、トンネル出入口付近の幅員構成や道路線形の変化などを明示するため、必要に応じて設けるのがよい。

※ 問題番号 [No.30]から[No.35]までは、6 問題のうちから 3 問題を選択し、解答してください。

[No. 30] 建物の空調で使用するヒートポンプの原理図において、アの名称として、適切なものはどれか。



1. 圧縮機
2. 熱交換器
3. 蒸発器
4. 凝縮器

[No. 31] 盛土工事における土の締固めに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 雨水の浸入による土の硬化や吸水による膨張を大きくする。
2. 土の空気間隙を少なくすることにより、透水性を低下させる。
3. 盛土の法面の安定や、土の支持力を増加させる。
4. 盛土の変形抵抗及び圧縮抵抗を確保する。

※ 問題番号 [No.30]から[No.35]までは、6 問題のうちから 3 問題を選択し、解答してください。

[No. 32] 測量に関する次の記述に該当する測量方法として、最も適当なものはどれか。

「ある点の基準面からの標高や、土地の高低差を求める測量である。」

1. 距離測量
2. 水準測量
3. 平板測量
4. トラバース測量

[No. 33] 土留め(山留め)壁に用いる鋼矢板による工法において、鋼矢板の施工方法として、最も不適当なものはどれか。

1. ディープウェル工法
2. プレボーリング工法
3. 振動工法
4. 圧入工法

[No. 34] 国内の鉄道において、新幹線鉄道の軌間として、正しいものはどれか。

1. 1 067 mm
2. 1 372 mm
3. 1 435 mm
4. 1 676 mm

[No. 35] コンクリートに関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 空気中の二酸化炭素により、コンクリートのアルカリ性は表面から失われて中性化していく。
2. コンクリートは、セメントと水の化学反応により凝結・硬化する。
3. コンクリートは、圧縮強度は高いが、引張強度は低い。
4. 生コンクリートは、スランプが小さいほど流動性が大きい。

※ 問題番号 [No.36]から[No.40]までの5問題は、全問解答してください。

[No. 36] 遮断器の文字記号と用語の組合せとして、「日本電機工業会規格(JEM)」上、不適当なものはどれか。

	文字記号	用語
1.	VCB	真空遮断器
2.	GCB	ガス遮断器
3.	MCCB	磁気遮断器
4.	ELCB	漏電遮断器

[No. 37] 建設工事における施工要領書に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

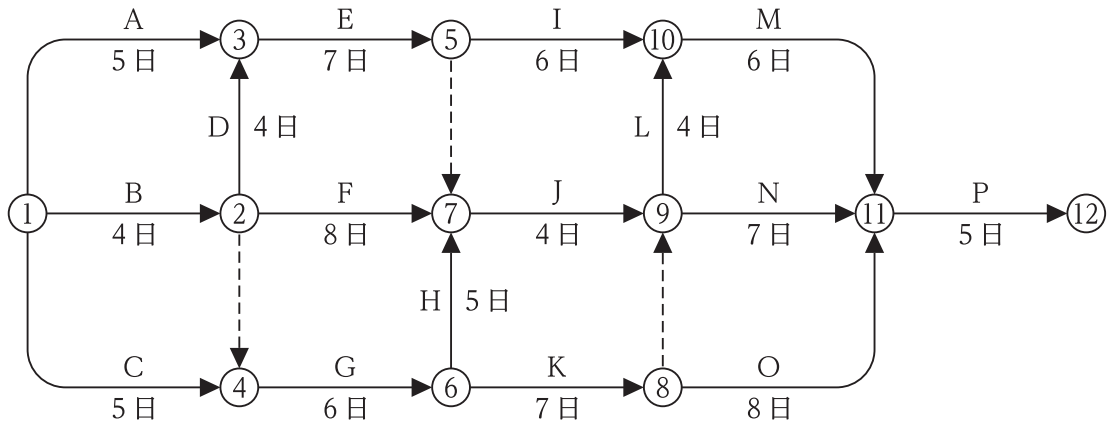
1. 初心者の技術・技能の習得に利用した。
2. 施工図を補完する資料なので、設計者、工事監督員の承諾を省略できる。
3. 部分詳細や図表などを用いて分かりやすいものとした。
4. 一般的に常識的な事項の記載を省略できる。
5. 施工品質の均一化及び向上を図ることができる。

[No. 38] 建設工事のネットワーク工程表において、クリティカルパスの日数(所要工期)を短縮する場合の記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 人員、機械などの投入資源の増加限度を検討した。
2. 各作業時間(日数)の見積りが適切であるか確認した。
3. 各作業の順序の入れ替えによる効果について確認した。
4. 品質、安全性が低下する場合でも日程の短縮を検討した。
5. 直列になっている作業を並列作業に変更することを検討した。

※ 問題番号 [No.36]から[No.40]までの5問題は、全問解答してください。

[No. 39] 図に示すネットワーク工程表のクリティカルパスとして、正しいものはどれか。
ただし、○内の数字はイベント番号、アルファベットは作業名、日数は所要日数を示す。



1. ①→③→⑤→⑦→⑨→⑩→⑪→⑫
2. ①→④→⑥→⑧→⑨→⑩→⑪→⑫
3. ①→④→⑥→⑦→⑨→⑩→⑪→⑫
4. ①→②→④→⑥→⑧→⑨→⑩→⑪→⑫
5. ①→②→③→⑤→⑦→⑨→⑩→⑪→⑫

[No. 40] 品質管理に用いる特性要因図に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 図の形から魚の骨と言われることがある。
2. 問題の大きさの順位が容易にわかるので採用した。
3. データを活用しながら、事実に基づき、作りあげていく。
4. 特性要因図の作成をブレイン・ストーミングにより進めたところ有効であった。
5. 問題としている特性と、それに影響を与える要因との関係を、体系的に整理した図である。

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 41] 建設工事における施工計画書の作成の目的として、最も関係のないものはどれか。

1. 施工効率を高めるため
2. 施工技術を習得するため
3. 環境管理を行うため
4. コスト目標を達成するため

[No. 42] 新築事務所ビルの電気工事における総合工程表の作成に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 受変電設備、幹線などの工事期間は、受電日より逆算して計画する。
2. 工程上動かさない作業がある場合は、それを中心に他の作業との関連性をふまえて計画する。
3. 諸官庁への書類の作成を計画的に進めるため、提出予定時期を記入する。
4. 作業種別ごとに作業の進捗を計画し、必要な労務の稼働人員を記入する。

[No. 43] 絶縁抵抗測定に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. ケーブルの測定時には、測定開始直後の指示値を測定値とした。
2. 高圧回路を、1 000 V の絶縁抵抗計で測定した。
3. 低圧幹線を、500 V の絶縁抵抗計で測定した。
4. 測定前に、絶縁抵抗計の電池チェック、開放チェック及び 0 (ゼロ) チェックを行った。

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 44] 高さが 5 m 以上の移動式足場(ローリングタワー)の設置及び使用に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 組立て作業は、作業主任者を選任して行った。
2. 作業床上に作業員が乗っている場合、移動式足場の移動を禁止した。
3. 作業床の周囲には、床面より 80 cm の高さに手すりを設け、中さんと幅木を取り付けた。
4. 作業床の床材に足場板を使用し、すき間が 3 cm 以下となるよう敷き並べて固定した。

[No. 45] 高所から物体を投下するときに投下設備を設ける等、労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない高さとして、「労働安全衛生法」上、定められているものはどれか。

1. 1.5 m 以上
2. 1.8 m 以上
3. 2 m 以上
4. 3 m 以上

[No. 46] 水力発電所の建設工事に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 接地工事の接地極は、吸出管の基礎掘削の際に埋設した。
2. 発電所建屋内の天井クレーンは、主要機器の据え付け前に設置した。
3. 立軸の水車と発電機の心出しは、ロータリエンコーダを用いて行った。
4. 発電機の固定子、回転子等は分割輸送した。

[No. 47] 高圧架空配電線路の施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

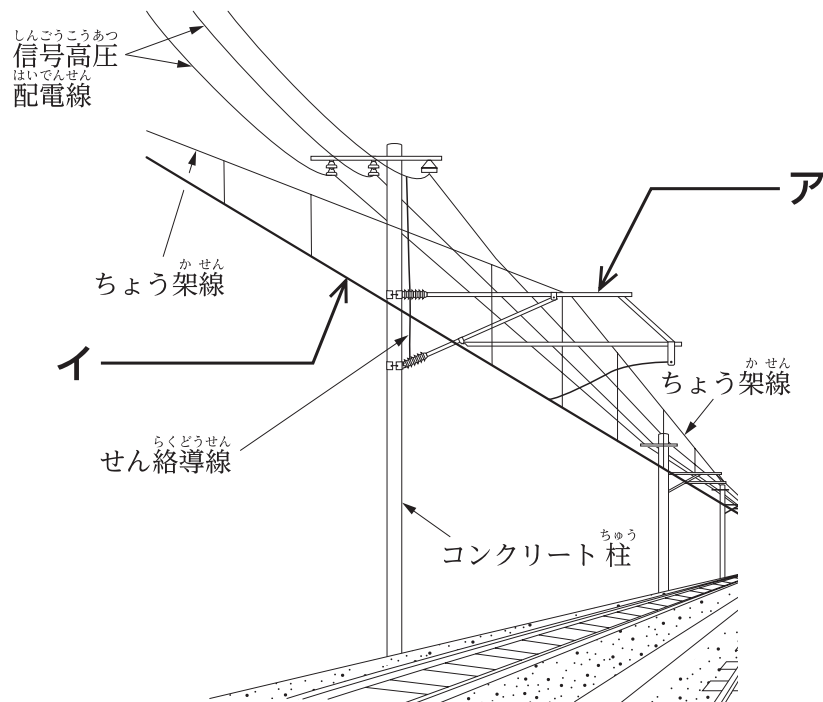
1. 絶縁電線は、圧縮スリーブを使用して接続した。
2. 電線接続部には、絶縁電線と同等以上の絶縁効果を有するカバーを使用した。
3. 張力が加わる絶縁電線は、電線の支持点で分岐した。
4. 絶縁電線の引留支持には、玉がいしを使用した。

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 48] 金属管配線に関する記述として、「内線規程」上、誤っているものはどれか。

1. 単相 3 線式回路においては、3 本の電線を同一の金属管内に収めて施工した。
2. 器具と器具の間の金属管配線の管のこう長が 30 m を超えたので、途中にプルボックスを設置した。
3. 水気のある場所に施設する金属管配線に絶縁電線を使用した。
4. 強電回路の電線と弱電回路の電線を同一ボックスに収めるので、金属製の隔壁を施設し、その隔壁に D 種接地工事を施した。

[No. 49] 図に示す、交流電化区間の電車線路標準構造において、部材アとイの名称の組合せとして適当なものはどれか。



- | | ア | イ |
|----|---------|------|
| 1. | 可動ブラケット | トロリ線 |
| 2. | 可動ブラケット | 負き電線 |
| 3. | ハンガ | 負き電線 |
| 4. | ハンガ | トロリ線 |

※ 問題番号 [No.41]から[No.50]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 50] 有線電気通信設備の線路に関する記述として、「有線電気通信法」上、誤っているものはどれか。

ただし、光ファイバは除くものとする。

1. 通信回線の線路の最大電圧を 100 V とした。
2. 屋内電線(通信線)が低圧の屋内強電流電線と交差するので、離隔距離を 10 cm 以上とした。
3. ケーブルを使用した地中電線(通信線)と高圧の地中強電流電線との離隔距離を 30 cm 以上とした。
4. 屋内電線と大地間の絶縁抵抗を直流 100 V の電圧で測定した結果、 $0.4\text{ M}\Omega$ であったので良好とした。

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 51] 建設業の許可に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。
ただし、政令で定める軽微な建設工事のみを請け負うことを営業とする者を除く。

1. 「国土交通大臣の許可」と、「都道府県知事の許可」では、受注可能な請負金額による差はない。
2. 一の建設業者は、建築工事業と電気工事業の両方の許可を受けることができる。
3. 「国土交通大臣の許可」と、「都道府県知事の許可」では、施工にあたって下請契約を締結できる代金の額に差はない。
4. 「都道府県知事の許可」では、建設工事を施工し得る区域に制限がある。

[No. 52] 建設工事の工期等に関する記述として、建設業法に基づき中央建設業審議会より勧告された「工期に関する基準」上、誤っているものはどれか。

1. 本基準の適用範囲は、あらゆる建設工事及び発注者・受注者である。
2. 法定労働時間及び時間外労働規制を遵守する。
3. 建設業における労働時間には、書類の作成に係る時間は含まれない。
4. 建設業も週休 2 日を確保できるようにしていくことが必要である。

[No. 53] 自家用電気工作物を設置する者が行う事故報告に関する記述として、「電気事業法」上、誤っているものはどれか。

1. 工作物が半焼以上の電気火災事故の場合、報告書を提出する。
2. 感電により人が死亡した事故の場合、報告書を提出する。
3. 報告書には、被害状況と防止対策を記載する。
4. 報告書は、都道府県知事に提出する。

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 54] 電気工作物に関する記述として、「電気事業法」上、誤っているものはどれか。

1. 電気鉄道の車両に設置する電気設備は、電気工作物ではない。
2. 高压で受電する需要設備は、自家用電気工作物である。
3. 火力発電のために設置する蒸気タービンは、電気工作物である。
4. 水力発電のために設置するダムは、電気工作物ではない。

[No. 55] 電気工事士等に関する記述として、「電気工事士法」上、誤っているものはどれか。

1. 第一種電気工事士は、一般用電気工作物等に係る電気工事の作業に従事できる。
2. 認定電気工事従事者認定証は、経済産業大臣が交付する。
3. 第二種電気工事士は、簡易電気工事の作業に従事できる。
4. 電気工事士免状は、都道府県知事が交付する。

[No. 56] 電気工事に使用する機材のうち、電気用品に該当するものとして、「電気用品安全法」上、定められていないものはどれか。

ただし、機材は、防爆型のものを除く。

1. 600 V 耐燃性ポリエチレン絶縁電線(EM-IE) 5.5 mm²
2. 内径 16 mm の合成樹脂製可とう電線管(CD 16)
3. 幅 300 mm 高さ 200 mm の金属ダクト
4. 幅 40 mm 高さ 30 mm の二種金属製線び

[No. 57] 建築物に設ける建築設備として、「建築基準法」上、定められていないものはどれか。

1. 昇降機
2. 避難はしご
3. 排煙設備
4. 煙突

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 58] 消防用設備等として、「消防法」上、定められていないものはどれか。

1. ガス漏れ火災警報設備
2. 非常用の照明装置
3. 緩降機
4. 漏電火災警報器

[No. 59] 事業者が、事故報告書を所轄労働基準監督署長に、遅滞なく提出しなければならない場合として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

1. 事業場で火災の事故が発生したとき
2. ゴンドラのアームの折損事故が発生したとき
3. つり上げ荷重が0.5tの移動式クレーンの転倒事故が発生したとき
4. 積載荷重が0.2tの建設用リフトのワイヤーロープの切断事故が発生したとき

[No. 60] 低圧活線近接作業に関する次の記述のうち、☐ に当てはまる語句の組合せとして、「労働安全衛生法」上、適当なものはどれか。

「事業者は、低圧の充電電路に近接する場所で電路の電気工事の作業を行う場合において、当該作業に従事する労働者が当該充電電路に接触することにより ☐ の危険が生ずるおそれのあるときは、当該充電電路に ☐ を装着しなければならない。
(以下省略)」

- | | ア | イ |
|----|----|--------|
| 1. | 感電 | 短絡接地器具 |
| 2. | 漏電 | 短絡接地器具 |
| 3. | 感電 | 絶縁用防具 |
| 4. | 漏電 | 絶縁用防具 |

※ 問題番号 [No.51]から[No.62]までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 61] 使用者が、満 18 歳に満たない者に就かせてはならない業務として、「労働基準法」上、定められていないものはどれか。

1. クレーンの運転の業務
2. 高さが 5 m の場所で、墜落により危害を受けるおそれのあるところにおける業務
3. 2 人以上の者によって行うクレーンの玉掛け業務における補助作業の業務
4. 交流電圧 300 V を超える充電電路の修理の業務

[No. 62] 「大気汚染防止法」上、ばい煙として定められていないものはどれか。

1. 窒素酸化物
2. 塩化水素
3. いおう酸化物
4. 一酸化炭素

